

厚労省がワクチン効果を捏造

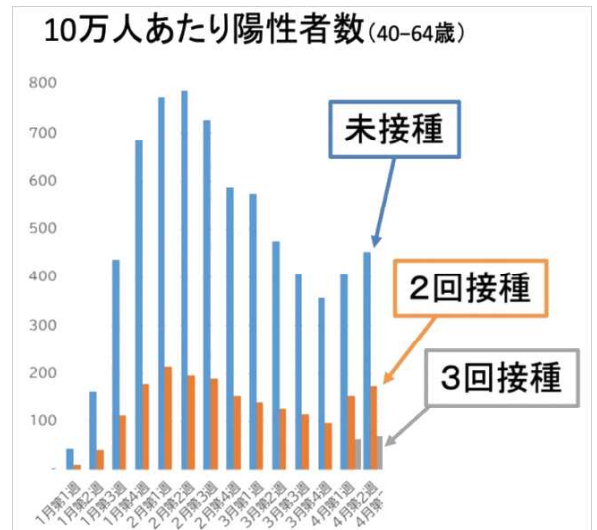
右は、厚労省が公表しているコロナ陽性者数の推移を表すグラフです。

このグラフでは、ワクチンの接種者は、未接種者より陽性になりにくいという結果になっています。

テレビや新聞などでも、このデータを元にワクチンの有効性をアピールしていました。

でも、その当時、タレントなど有名人が続々とコロナに感染し、高齢者施設など、ワクチン接種率の高い施設で、クラスター(感染者集団)が多発していました。

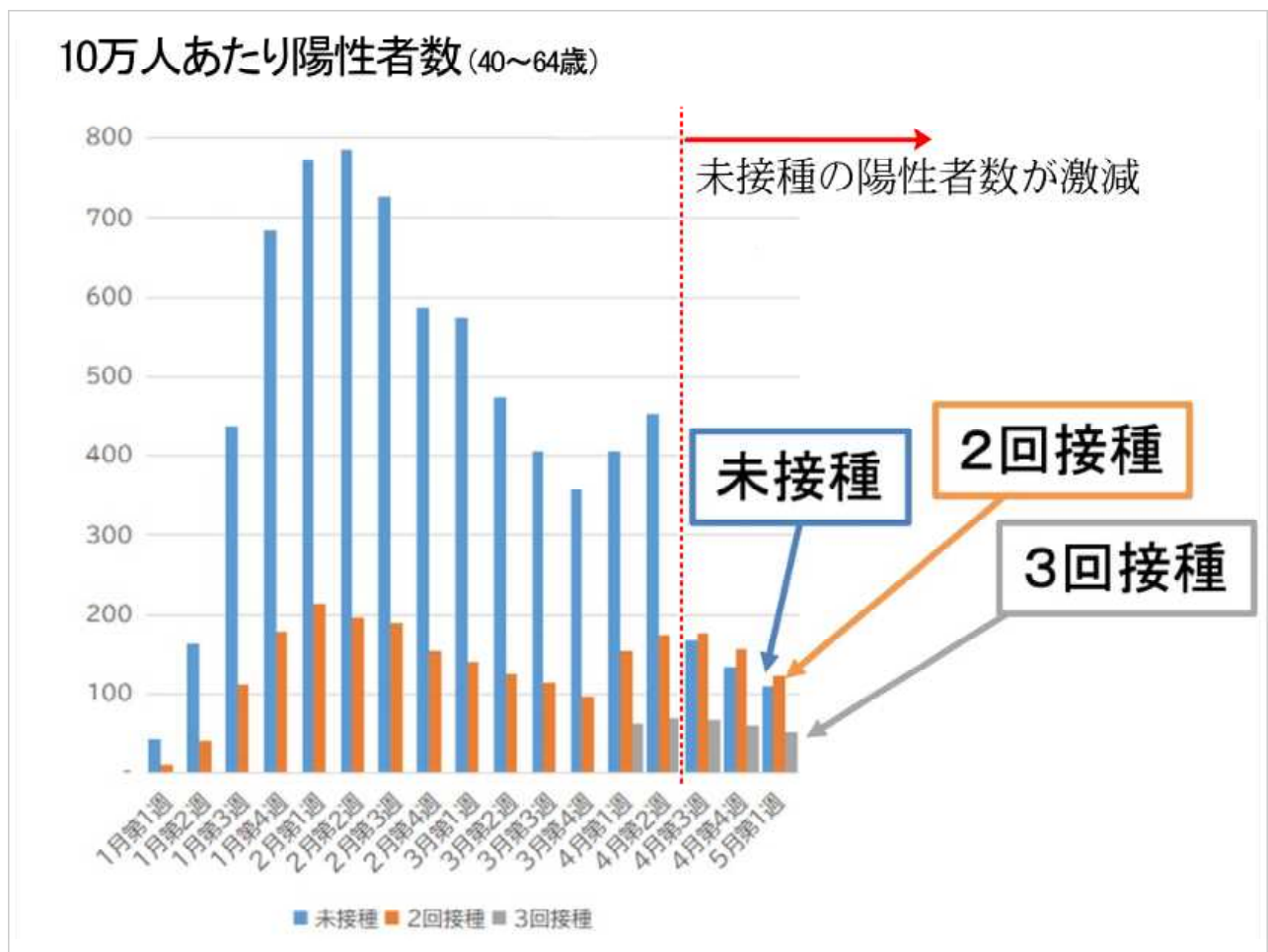
(世間にワクチンに対する疑念が広がっていました)



そんな中、突然、グラフの未接種の陽性者数が激減したのです。

当初は、未接種の陽性者数(青)が、接種者(2回・3回)に比べて、相当数高くなっていました。

ところが、それが、突然、未接種の陽性者数が、それまでの半分以下に減ったのです。



それは、厚労省が、集計方法を変更したからでした。

厚労省は、当初から、医師から提出される「新型コロナウイルスの発生届」のワクチン接種年月日(赤枠)の欄が「不明」のものを「未接種」に分類していたのです。(2022年4月20日まで)

つまり、接種年月日の欄が「不明」のものを、未接種者として計上していたわけです。
当然のこと、未接種者の陽性者数が増えることとなります。

③ 新型コロナウイルスワクチン接種歴	
1回目 有 (歳)・無・不明	
ワクチンの種類／製造会社 (/)	・不明)
接種年月日 (R 年 月 日・不明)	
2回目 有 (歳)・無・不明	
ワクチンの種類／製造会社 (/)	・不明)
接種年月日 (R 年 月 日・不明)	

接種年月日が不明というのは...

接種したけど(接種歴の「有」は○)、それが何時だったか覚えていないということです。

したがって、接種年月日が不明の人は、まぎれもなく接種者ということになります。

これは、厚労省の意図的な(ワクチン効果をかさ上げするための)改ざんとはかと思えません。

厚労省は、接種歴の「有」に○が付けられていたとしても、接種年月日が不明の場合は、未接種に計上していたことを、はっきり認めています。

(神奈川県大和市 石田ゆたか市議員による電話での質問)

CBCニュース <https://www.youtube.com/watch?v=jCHSgQqxzlc&t=145s>



厚労省は、修正したとはいえ、接種年月日が不明のデータを除外しただけでした。

本来なら、除外した分を、2回または3回接種者に計上しなければなりません。

そうすると、右下のグラフのように、接種者の陽性者数が増えることとなります。

でも、結局、正しいデータが、公表されることはなく、陽性者数の公表自体が打ち切られたのです。

これは、ワクチン効果の捏造、そして、隠蔽です。

これが、世間にばれてしまうと、厚労省の存在自体が危うくなるほどの大事件に発展しかねません。

また、これを、公表すると、ワクチンは効かない(より感染しやすくなる)という事実が、世間に広まってしまいます。

厚労省としては、これを、おおい隠すのに必死なのでしょう。

そんな中で、コロナワクチンの定期接種(治験)も始まります。

接種は任意であり、自らの意思で決めることができます。

モルモットになるのか、それとも、拒否するのか...

判断を誤らないためには、自らで、正しい情報を取りに行くしかありません。

多くの人々は、マスメディアの偏向報道を頼りに、判断するしかないというのが現状です。

超過死亡数も、このまま増え続けることになるのでしょうか？

